

# 「歯科審美」投稿規定

## (第29巻2号投稿論文から適用)

1. 本誌への投稿は特別の場合を除き、一般社団法人日本歯科審美学会会員に限り、次の分類に分けて受け付ける。
  - 1) 総説論文, 2) 原著論文, 3) 臨床論文 (症例報告, 各種術式, 臨床のヒント, 調査報告),
  - 4) 誌上セミナー, 5) 特集, 6) その他
2. 投稿論文は他誌に未発表のものに限る。
3. 事務局に到着した日を受付日とし、掲載の可否は編集委員会で査読後、決定する。
4. 原稿様式
  - 1) 和文論文は口語体、新仮名づかい、横書きとし、漢字は学術用語など特殊な場合を除き常用漢字を用いる。用紙は A4 判を縦に使用し、800 字 (40 字×20 行) の設定とする。
  - 2) 英文論文は A4 判用紙を用いダブルスペースの設定とする。
  - 3) 論文の記載順序は表紙 [表題, 著者名, 所属機関名, 3~5 語のキーワード (以上, 和文および英文)], 抄録 (原著論文のみ), 本文, 別刷請求先とする。
  - 4) 原著論文の本文は緒言, 材料および方法, 結果, 考察, 結論, 文献, 図表の説明の順とする。原著以外の論文もこれに準ずる。症例報告では緒言, 症例, 考察, 結論, 文献, 図表の説明の順とする。
  - 5) 原著では、研究目的, 材料および方法, 結果, ならびに重要な結論を含む抄録をつける。
    - (1) 和文論文の場合  
400 words 以内の図・表なしの英文抄録をつける。
    - (2) 英文論文の場合  
400 字以内の図・表なしの和文抄録をつける。
  - 6) 文章の各項目は、大項目から順に 1・2…, 1)・2) …, (1)・(2) …, a・b…, a)・b) …, (a)・(b) …, とする。
  - 7) 製品名は、原則として「一般名 (製品名, 会社名, 海外製品は国名)」のように記載する。
  - 8) 単位記号は国際単位系 (SI) とし、数字はアラビア数字とする。
  - 9) 利益相反 (COI) の有無を文献の前に記載する (COI がない場合も「本研究に関し開示すべき COI 状態はない」等と記載すること)。
  - 10) 文献は引用順に番号を付し、本文中の引用箇所にも右肩上付で示し、文献欄に番号順に並べる。  
なお、著者・編集者・翻訳者については第3者まで姓名を記し、第4者以降は「他」または“et al.”とする。
    - (1) 雑誌の場合は、著者名：表題, 雑誌名, 巻, 引用した頁, 発行年。  
(例) 1) 鈴木雅也, 関 秀明, 加藤千景, 他：漂白処置が既存コンポジットレジン修復の窩壁適合性と象牙質剪断接着強さに与える影響, 歯科審美, 26, 8-16, 2013.  
2) Benetti AR, Valera MC, Mancini MN, et al : In vitro penetration of bleaching agents into the pulp chamber, Int Endod J, 37, 120-124, 2004.
    - (2) 著者による単行本の場合は、著者名：書名, 上・下巻などの別, 版数, 出版社名, 出版社所在都市名, 引用した頁, 発行年。  
編集者による単行本の場合は、著者名：引用した章・表題/編集者名：書名, 上・下巻などの別, 版数, 出版社名, 出版社所在都市名, 引用した頁, 発行年。  
(例) 1) 藤田恒太郎：歯の解剖学, 第22版, 金原出版, 東京, 43-47, 2000.  
2) 千田 彰, 寺下正道, 寺中敏夫, 宮崎真至：第6章 間接修復5, セラミックインレー修復/桃井保子, 山本雄嗣：保存修復学, 第6版, 医歯薬出版, 東京, 215-221, 2013.

(3) 翻訳書の場合は、原著者名：翻訳者名：翻訳書名、上・下巻などの別、版数、出版社名、出版社所在都市名、引用した頁、発行年。

(例) 1) Murray RK, Bender DA, Botham KM, et al.: 清水孝雄監訳：イラストレイテッド ハーパー・生化学, 第29版, 丸善, 東京, 402-405, 2001.

(4) 印刷中の論文の場合は、著者名：表題、雑誌名、巻、発行年、印刷中。

(例) 1) 新海航一：ホームホワイトニングにより色調改善したテトラサイクリン変色歯の症例, 歯科審美, 28, 2016, 印刷中.

(5) インターネットウェブサイトの場合は、発行元：記事名、URL (アクセス日)

(例) 1) 厚生労働省：平成23年歯科疾患実態調査 現在歯数および1人平均値, 歯種・年齢別 (5歳以上・永久歯), <http://www.mhlw.go.jp/toukei/list/dl/62-17c23-1.pdf> (2015年11月27日アクセス)

(6) 雑誌名の略名は、日本自然科学雑誌総覧, Index Medicus に準ずる。

11) 図 (写真)・表は 図と表に分類して番号を図表中に記載し、図と表それぞれで1ファイルとする。

12) 症例写真を用いる場合は、患者の同意を得る。

5. ヒトを対象とする研究はヘルシンキ宣言を遵守し、研究対象者からインフォームド・コンセントを受け、所属施設の倫理委員会、所属施設に倫理委員会がない場合は本学会倫理委員会の承認を得たものでなければならない。動物実験は、「動物実験に関する所属研究機関の指針」に基づいて倫理的な承認を受けてから行われたものでなければならない。したがって、論文中にはこれらの承認を得ている旨ならびに承認 (許可) 番号を必ず明記する。また、研究対象者個人が特定できないよう個人情報保護法を遵守すること。

6. 投稿の際には COI 自己申告書を提出し (8-2) 参照), 論文の内容に関する COI 状態をすべて申告すること。

7. 著者校正は原則として1回とし、著しい字句の変更追加、削除は認めない。校正刷りが指定された期日に返送されない時には校正が無効となることもある。

## 8. 投稿方法

原稿は電子メールで送付する。

1) 原稿 (表紙, 抄録, 本文で1ファイルにする) は Microsoft® Office Word (以下, Word) 形式とする。図は jpg または pdf, 表は Microsoft® Office Excel, jpg, pdf または Word 形式とする。

2) 投稿票・チェックリスト, 承諾書, COI 自己申告書は学会ホームページからダウンロードして使用する。投稿票に必要事項を記載し、著者自身で投稿原稿内容を確認のうえチェックリストの著者チェック欄にチェックし、原稿とともに提出する。承諾書には必要事項を記載し、著者全員の署名・捺印 (外国人については捺印は不要) を行い、著者校正返却時に必ず同封して提出する (投稿時には提出不要)。COI 自己申告書は画像ファイルとして投稿時に提出し、原本を著者校正返却時に必ず同封して提出する。

3) ファイル名は、和文で「著者名」\_「所属名 (大学は学部以下不要)」\_「原稿・図・表・投稿票」\_そしてファイル種類を表す「拡張子」とする。

(例) 審美良子\_綺麗大学\_原稿.doc; 審美良子\_綺麗大学\_図.jpg; 審美良子\_綺麗大学\_投稿票.doc

4) カラー印刷希望の図はカラーデータ, モノクロ印刷希望の図はモノクロデータとすること。

5) 電子メールの件名 (Subject) は「歯科審美投稿論文」とする。

6) 投稿原稿は、歯科審美編集事務局: [hensyu6@kokuhoken.or.jp](mailto:hensyu6@kokuhoken.or.jp) に送付する。念のため CC (Carbon Copy) に、[hensyu5@kokuhoken.or.jp](mailto:hensyu5@kokuhoken.or.jp) を加えること。

7) ファイルサイズが大きすぎる等の問題のため電子メール投稿が困難な場合は、FTP サーバ等を用いた投稿も可能とする。この際であっても、まずは6) の アドレスに連絡し、その際にファイルをダウンロードするサイト等を指示すること。

9. 掲載料は論文1編につき、刷り上がり2頁まで無料とし、これを超過した場合は超過料を申し受ける。図版費と

カラー印刷費は全頁を通じ著者負担とする。

学会より依頼した論文については掲載無料とする。

別刷りは 50 部を無料とするが、それ以上は著者負担とする。

10. 英文論文原稿および英文抄録は編集委員会から専門家に校正を依頼し、それに関わる費用は著者負担とする。
11. 本誌は原則として、3月、9月に発行することとし、必要があれば増刊する。
12. 本誌に掲載された論文の著作権（著作財産権, Copyright）は、本会に帰属する。  
ただし、本会が必要と認めた時あるいは外部からの引用の申請があった時は、編集委員会で審議し、掲載ならびに著作権使用を認めることがある。
13. 著者は当該著作物の複写権・公衆送信権の行使を日本歯科審美学会に委任するものとする。
14. 本規定以外の事項と規定の変更は編集委員会で審議し、理事会にはかる。
15. 本規定は第 29 巻 2 号から適用する。